

千畳敷砦(落合砦)(指定無)(恵那市明智町城山)(千畳敷公園)

明智城主が宝治元年(1247年)に築城された頃、西南の方角に当たる千畳敷台地は戦略上、重要な地点として砦を築いたと伝えられている。山の上から南北街道を一望に見下ろせるこの砦は、いざ戦いとなればたちまち明智城の前線基地となり、戦国時代の天正年間には遠山家の一族、串原五郎経景がこの砦を(落合砦とも言われる)守ったと伝えられている。

大正村サイトによる

公園整備で遺構はほとんどないが、明知光秀産湯の井戸が説明板付きで残っている。

